

第6回「船舶からの大気汚染物質放出規制海域（ECA）に関する技術検討委員会」

開催結果について

1. 開催日時・場所

日時：平成25年3月28日（木）10:00～12:10

場所：国土交通省中央合同庁舎2号館低層棟2A会議室

2. 委員名簿：別紙参照

3. 議事概要：

（1）大気質シミュレーションの実施結果、費用影響調査の結果の報告

最新の排出量データによる広域（日本全体）での大気質シミュレーションの結果、狭域（関東）での大気質シミュレーションの結果、ECAによる費用影響（SCRの設備費、ランニングコスト、燃料コスト等の試算）調査の結果が報告され、前回検討会での「現時点では、我が国周辺におけるECA設定の必要性があるとは判断されない」状況に変化無いことが確認された。

（2）今後の課題についての提言

今後、国の環境政策に変更があった場合や、将来推定の前提に変更が生じた場合などに対応するため船舶による大気環境への影響の検討を継続していくことにあたっての主な課題について、排出量データの整備、最新化及び精度の向上、大気環境学の進歩を反映した大気物質シミュレーション技術の向上、その他が報告され、了承された。

（3）その他

本委員会については、今回が最終回であることから、これまでの検討の成果の取り纏め案について事務局より説明があり、内容について了承された。

なお、編集上の事項については、事務局にて適宜修正することとされた。

以上

船舶からの大気汚染物質放出規制海域（ECA）に関する技術検討委員会
（ECA 技術委員会）
委員名簿（敬称略、順不同）

委員長	若松 伸司	愛媛大学 農学部 生物環境保全学 大気環境科学研究室 教授
委員	速水 洋	（一財）電力中央研究所 環境科学研究所 大気・海洋環境領域 上席研究員
	佐藤 徹	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻 教授
	岡田 啓	東京都市大学 環境情報学部 環境情報学科 准教授
	前田 和幸	水産大学校 海洋機械工学科 教授
	千田 哲也	（独）海上技術安全研究所 海洋環境評価系長 兼 研究統括主幹
	洲之内 満彦	（一社）日本船主協会 工務幹事会 幹事長
	加藤 琢二	（一社）日本旅客船協会 理事
	内藤 吉起	日本内航海運組合総連合会 理事
	山口 祐二	（一社）日本造船工業会 技術部 部長
	島田 一孝	（社）日本舶用工業会 大形機関技術委員会 委員
	木上 正士	（社）大日本水産会 事業部 部長
	金子 タカシ	石油連盟 技術委員会 民生・産業用燃料専門委員会 委員
関係官庁	森下 哲	環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課長
	遠藤 久	水産庁 増殖推進部 研究指導課長
	村田 茂樹	国土交通省 総合政策局 海洋政策課長
	平原 祐	国土交通省 海事局 安全基準課長